

硫黄鳥島

○概況 (平成 17 年 4 月)

硫黄鳥島で、白色の噴煙が確認されました。

硫黄鳥島(27.88° N、128.22° E)の南東約 65km にある沖永良部島の住民から、4 月 25 日 17 時 30 分頃、北西方向に噴煙が見えたとの目撃情報がありました。

26 日に海上保安庁第十一管区海上保安本部が上空から観測を実施したところによると、硫黄鳥島の硫黄山火口(北側の火口)及びグスク山火口(中央部の火口)内の噴気孔から白色の噴煙が上がっており、うち硫黄山火口の噴煙は火口縁上の高さ約 500m まで上がっていました(図 1)。

硫黄鳥島では、噴煙活動が高まり、沖永良部島から視認されたものと考えられます。

気象研究所と東京大学地震研究所が共同で実施している地震観測では、この時期、地震活動に特に変化はみられませんでした。

海上保安庁によると、硫黄鳥島では昨年 8、9 月の観測で噴煙が確認されています。また、11 月の観測では噴煙は確認されませんでした。

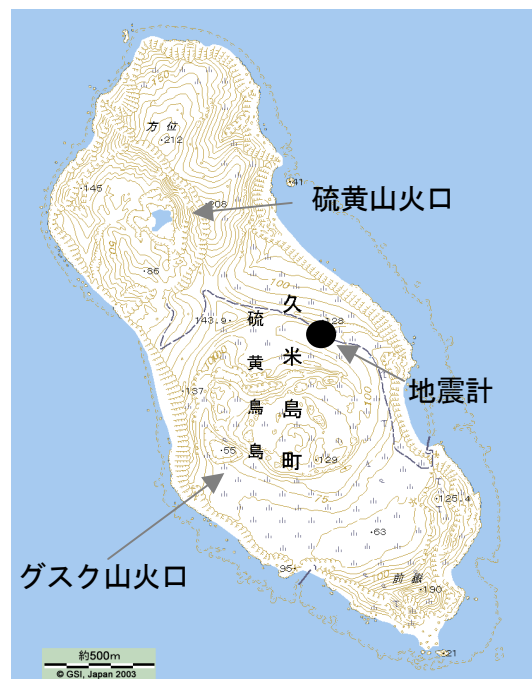
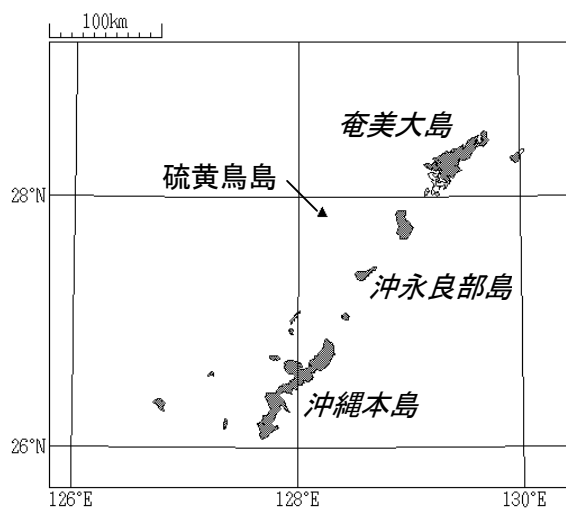


図 1 硫黄鳥島 噴煙の様子 (2005 年 4 月 26 日)
島の長径は約 2.7km 主な噴煙は火口から噴出